

平成 24 年 12 月 13 日

各 位

上場会社名 株式会社 デジタルデザイン
代表者名 代表取締役社長 寺井 和彦
(JASDAQ 市場 銘柄コード:4764)
問い合わせ先 取締役 経営管理グループ長 佐藤 真由美
TEL:06-6363-2322(代)

平成 25 年 1 月期第 3 四半期連結業績と前年同期実績との差異及び
特別損失等の計上に関するお知らせ

平成 25 年 1 月期第 3 四半期連結累計期間(平成 24 年 2 月 1 日～平成 24 年 10 月 31 日)の当社連結業績につきまして、前年同期(平成 23 年 2 月 1 日～平成 23 年 10 月 31 日)の実績値に対して、下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 1 月期第 3 四半期連結累計期間(平成 24 年 2 月 1 日～平成 24 年 10 月 31 日)の連結業績と前年同期実績値との差異
(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
平成 24 年 1 月期第 3 四半期(前年同期) (A)	120	△40	△40	△50	△1,893.80
平成 25 年 1 月期第 3 四半期 (B)	245	28	32	△254	△9,466.08
増減額(B-A)	124	68	72	△203	—
増減率	103.1%	—	—	—	—

2. 差異の理由

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国の経済情勢は、海外経済の減速や円高による輸出の低迷、企業収益の下振れや海外シフト加速に伴う設備投資の伸び悩み、国内消費マインドの改善が進まない等、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループはソフトウェア分野に集中し、今後、法人の中でも高度な利活用が進むと考えるデジタル画像、映像に関連する処理技術のソリューション販売、国際標準であるモデリング技術を活用したシステム開発サービス及び自社ネットワーク製品を活用したシステム開発サービスの販売を推進し営業利益を確保する活動を優先してまいりました。

さらに、「ImageReporter」「CorporateCAST」の品質改善を進めてまいりました。

以上の結果、当第 3 四半期連結累計期間におきましては、売上高 245,226 千円(前年同期比 103.1%増)、営業利益 28,603 千円(前年同期は営業損失 40,098 千円)、経常利益 32,568 千円(前年同期は経常損失 40,108 千円)となりました。

しかしながら、画像分野で業務資本提携していた株式会社オーリッドとの取引に伴う金銭債権に関して貸倒引当金繰入額などを特別損失に計上したことにより、四半期純損失 254,732 千円(前年同期は四半期純損失 50,962 千円)となりました。

3. 特別損失等の計上について

(1) 貸倒引当金繰入額 162,332 千円

当社が平成 24 年 11 月 30 日付で訴訟を提起した株式会社オーリッドに対する金銭債権（売掛金 27,195 千円、貸付金 30,000 千円、未収入金 105,137 千円）に関して計上したものであります。

(2) 投資有価証券評価損 20,136 千円

以上